



高病原性鳥インフルエンザと パンデミックインフルエンザ

鳥インフルエンザ対策の基本は、

「家禽[※]の感染を早期に摘発、淘汰することにより、被害を最小限に
くい止めるとともに、ヒトの健康と食の安全を守る。高病原性
鳥インフルエンザウイルスを家禽に封じ込める」

ことです。「新型インフルエンザ」という呼び方は正確ではありません。
伝播性と病原性の違いについても正確に理解していただき
たいと思います。 [※]家禽=家畜の中で鳥類に属するもの



講師：喜田 宏 (きだ ひろし)

日本学士院会員

北海道大学大学院獣医学研究科 特任教授

人獣共通感染症リサーチセンター センター統括

OIE 鳥インフルエンザレファレンスラボラトリー長

WHO 指定人獣共通感染症対策研究協力センター長

入場無料

日時：平成24年10月22日(月)
午後7時～8時30分

会場：長崎大学良順会館 2階ボードインホール
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

